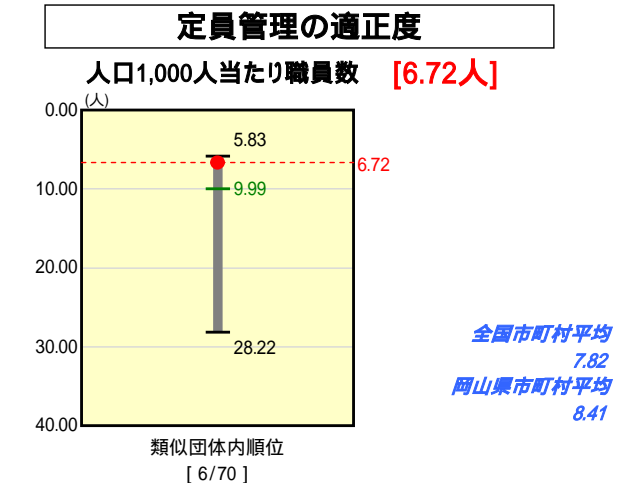
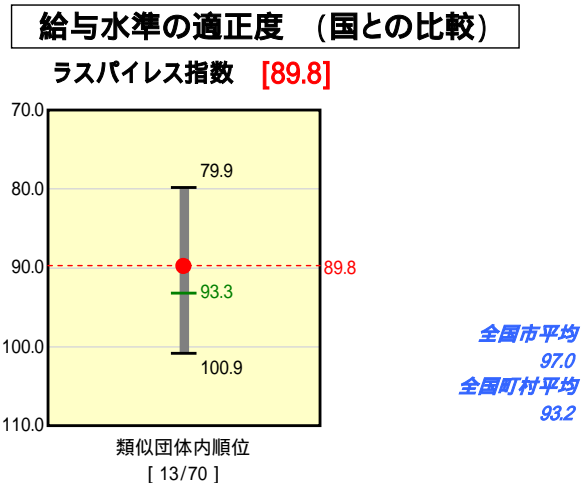
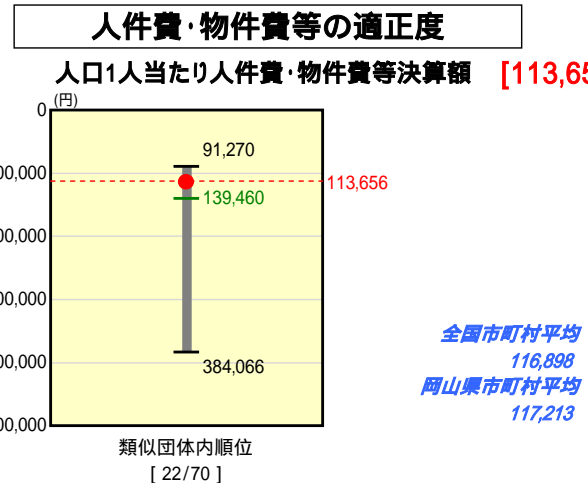
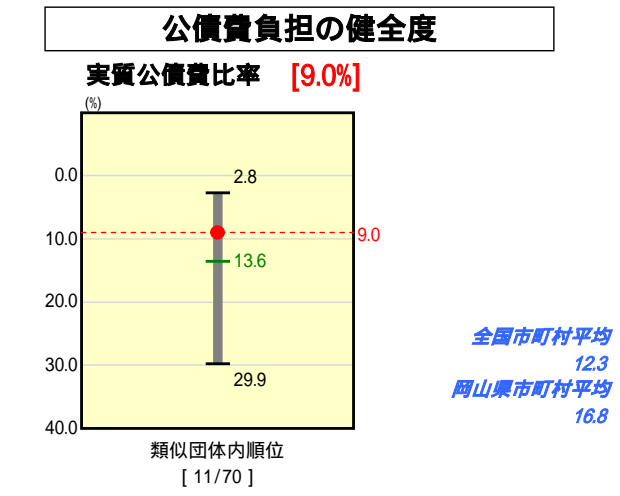
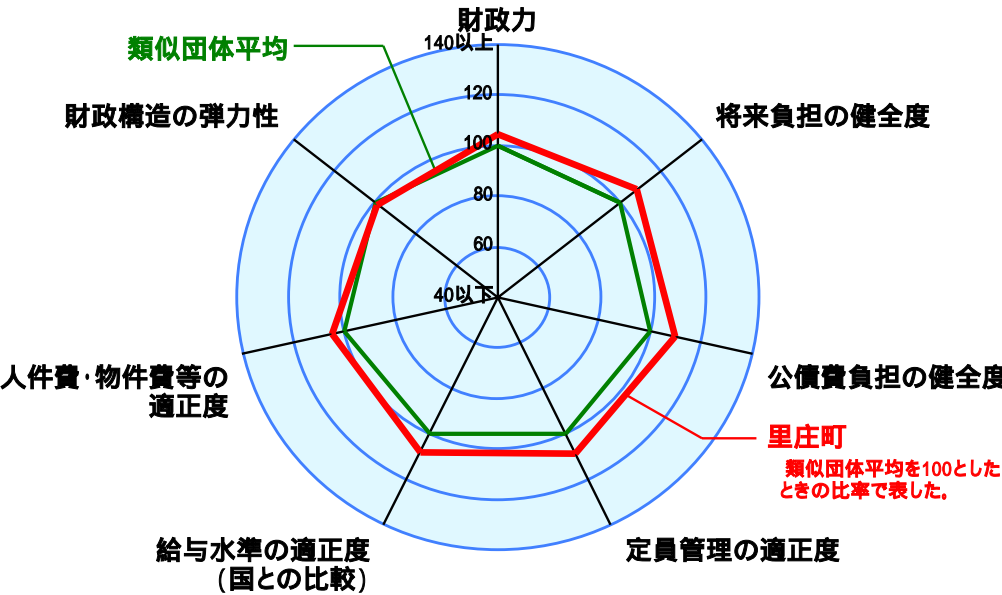
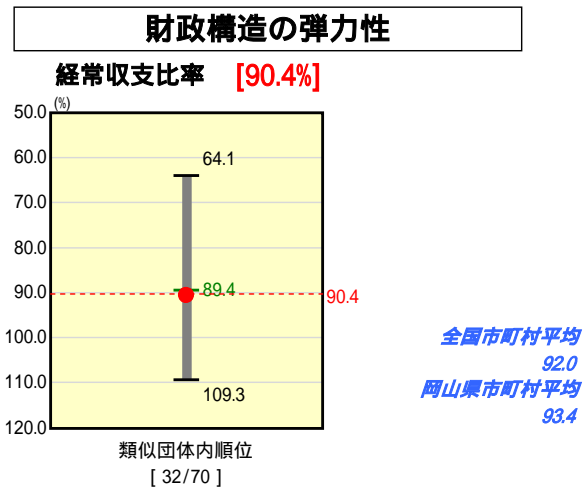
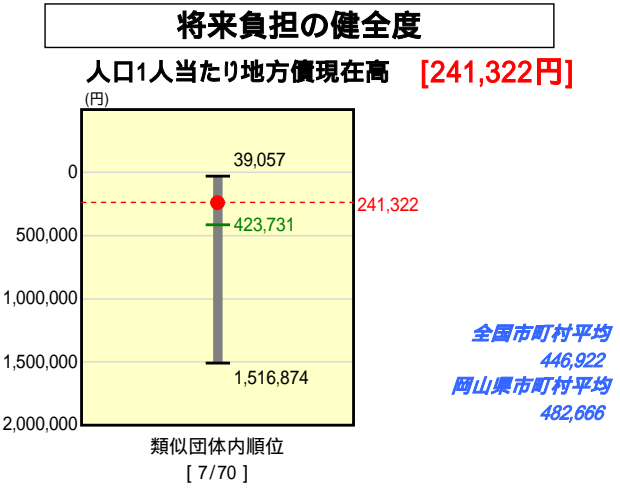
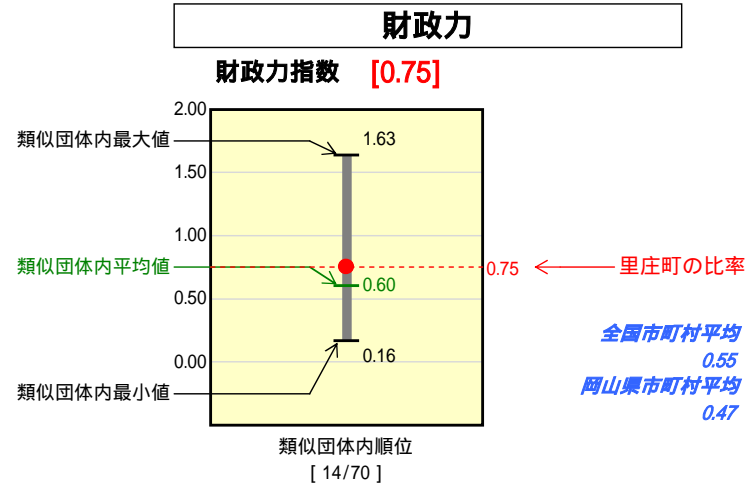


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 里庄町

人口	11,019人	(H20.3.31現在)
面積	12.23	km ²
歳入総額	4,091,481	千円
歳出総額	3,732,339	千円
実質収支	345,693	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：企業の立地により法人町民税をはじめ税収が多く、これにより財政力指数は類似団体平均を上回っている。

経常収支比率：歳入では法人町民税が減収、歳出では公債費、繰出金、人件費が増となり、4.3%の増となった。法人町民税については景気の動向によって年度間に大幅な変動がみられるため、これに伴い経常収支比率も変動する可能性がある。
今後も町主要事業(町道新設改良事業、公共下水道事業)推進により公債費、特別会計への繰出金の増加が見込まれるため、集中改革プランに掲げたとおり行財政改革への取組を通じて経常的経費の削減に努める。

ラスバイレス指数：89.8%と類似団体平均を下回っている。今後も集中改革プランに基づき給与水準の適正化に努める。

実質公債費比率：旧来から起債を抑制し、可能な限り自主財源で事業を実施してきた結果、現在の数値となっている。2.5%の減となっているが、今後は町主要事業、特に公共下水道事業に係る起債の償還に伴い上昇していく見込みである。

人口1人当たりの地方債現在高：類似団体平均を大幅に下回っているが、現在推進している町主要事業に係る地方債発行により、19,953円上昇した。また、当面は上昇する見込みである。このことから、他事業における地方債の発行は抑制し類似団体平均を上回ることがないよう努める。

人口1,000人当たり職員数：類似団体平均を下回っており、現在の水準維持に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均を下回っているのは、主に人件費が抑制されているからである。これは「人口1,000人当たり職員数」、「ラスバイレス指数」をみてもわかるように、職員数が少なく、給与水準も抑えられているからである。しかし、物件費については歳出総額に占める割合が17.1%と高くなっているため、特に委託料を中心に抑制を図っていく必要がある。また、職員の年齢構成は若年層が高くなっていることから、今後は人件費の増加が見込まれる。